

子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)

【令和3年度要求額 6,753 百万円 (5,535百万円)】

うち、国立環境研究所運営費交付金 6,622 百万円 (5,380百万円)

化学物質曝露が子どもの健康に与える影響を解明するための、長期的・大規模な追跡調査を行います。

- 1. 事業目的**
- ① 10万組の大規模コホート調査として、参加者（親子）の血液等の生体試料を採取・保存・分析するとともに、子どもが13歳に達するまで質問票等による追跡調査を行い、子どもの健康に影響を与える環境要因を明らかにする。
 - ② 適切な情報提供を通じて、環境リスク評価や、事業者の自主的取組への反映、化学物質の規制強化など、リスク管理体制の構築を推進し、結果として、次世代育成に係る健やかな環境の実現を図る。

2. 事業内容

追跡調査を継続するとともに、令和3年度は、子どもの成長過程における化学物質曝露や健康状態を評価するための「学童期検査」を引き続き実施する。また、参加者から得られた450万検体にも及ぶ膨大な生体試料を引き続き計画的かつ着実に分析する。(国立環境研究所運営費交付金)

本調査の円滑な実施のため、国民、国内外の関係者との連携・コミュニケーションを図るとともに、調査の実施状況を把握し、企画評価を行う。また、調査成果を正しく伝えるための取組を行うとともに、調査結果を活かして、子育て世代が化学物質のリスクと上手に向き合えるようにするための機会の拡充等に取り組む。(請負事業)



3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業：民間事業者・団体
交付金：研究機関
- 実施期間 平成22年度～令和14年度

4. 事業イメージ

